

は し が き

学問に王道なし、「受験に王道」あり。

受験対策書といってもいろいろな書籍が出版されていますが、本書は「合格すればOK」というアプローチで書きました。

しかし、本書は2次試験突破、最終合格を視野に入れ、「本質」が理解できるようにも説明しています。

特長1 試験に出る問題を重視

財務分析の試験問題は大問全4問で出題されます。第1問は現行ディスクロージャー制度等に係わる四肢択一問題(ほぼ全15問、30点)です。第1問の対処には、各項ごとに ← **試験に出る** のマークで示し、対処できるようにしてあります。必ず理解して下さい。第2問は個別計算問題(ほぼ全7問、14点)、第3問は総合計算問題(ほぼ3問×3、18点)の出題になっています。第2問・第3問には本書の[設例問題]をトレーニングすることにより対処できるようにしてあります。第4問は財務諸表分析の総合問題(28点~30点)が出題されます。第4問には本書の第16章で、試験の出題順序に従ってA社の財務データを具体的に分析することにより解き方がマスターできるようになっています。

特長2 試験に出る公式

特に、毎回のように出題されている重要な項目、式には「試験に出る公式」として、何を学習すれば合格できるのか学習目標を明確にしています。

特長3 ビジュアルに説明

用語・公式をそのまま記憶するのはなかなか大変です。短期間に合格に必要な知識を「確実に記憶」するには、図や表(映像によるイメージ)の形式で整理し、ビジュアル的に暗記する以外にありません。

兎に角「合格すればOK」をコンセプトに初めて学習される方であっても必ず「合格」できるよう「やさしく説明」してあります。

拙書が受験生の皆様の合格の一助になれば幸いです。